

イグサ新品種「きよなみ」について

定平 正吉・赤木 豊樹・浜田 四郎・下山根義行
中野 善雄*・吉崎 徹磨*・大出 春之*・後 俊孝

要 約

定平正吉・赤木豊樹・浜田四郎・下山根義行・中野善雄・吉崎徹磨・大出春之・後俊孝(1978)：イグサ新品種「きよなみ」について。広島農試報告 40：93～102

きよなみは1961年12月、熊本県八代郡鏡町の在来種、「文政在来」を取寄せ、栄養系分離法によって選抜育成し、1978年6月、「いぐさ農林4号」に登録された新品種である。生育型は分けつ型で茎の太さは中細種に属し、茎の充実は良く、着花も少ない。瀬戸内地帯では、収量はいそなみよりやや劣るが、九州・四国等の西南暖地では後期の生育が良く、「長イ」の収量が多い。茎色はやや淡緑を呈するが、乾茎の品質は良い。特にイグサ紋枯病に対しては、さざなみより強く、現在の品種中、最強の部類に属する。耐肥性は高く、土壌還元に対する抵抗性は、いそなみ、あさなぎより強いが、さざなみ、岡山3号より劣る。本品種は西南暖地の、多雨によるイグサ紋枯病の発生しやすい地帯の、主として普通栽培に適する。地下水位の高い排水不良田や、干拓開田後の年数が浅く、塩類濃度の比較的高い水田では、茎の伸長が不良で低収となるため、これらの地帯では、先ず、岡山3号を導入し、土地の生産力が高まってから、きよなみを導入するなどの配慮が必要である。

I 緒 言

近年わが国のイグサ栽培は、経済成長に伴う工業化社会指向の影響や、栽培技術的には網掛栽培の普及によって、九州地方(特に熊本県)の作付面積の増加が顕著となり、1967年を界にして、これまでの主産地である瀬戸内地方(特に岡山県)と入れ替った²⁾。1970年産の主産県イグサ作付面積は9,427haで、品種別の割合は、さざなみ5%、あさなぎ28%、岡山3号50%(うち熊本県44%)、その他17%となっている³⁾。1977年産では、9,343haの中、さざなみ2%、あさなぎ28%、いそなみ4%、瀬戸12号(現在のきよなみ)22%、岡山3号40%(うち熊本県38%)、その他4%となっており、いそなみ、瀬戸12号等の普及によって、さざなみ、岡山3号、その他の品種の後退がみられる⁴⁾。

新興産地においては、品質よりも収量に主体がおかれるため、品質優秀ではあるが「長イ」の収量が少ないあさなぎよりも、栽培容易で多収型の岡山3号の占める割

合が大きい。

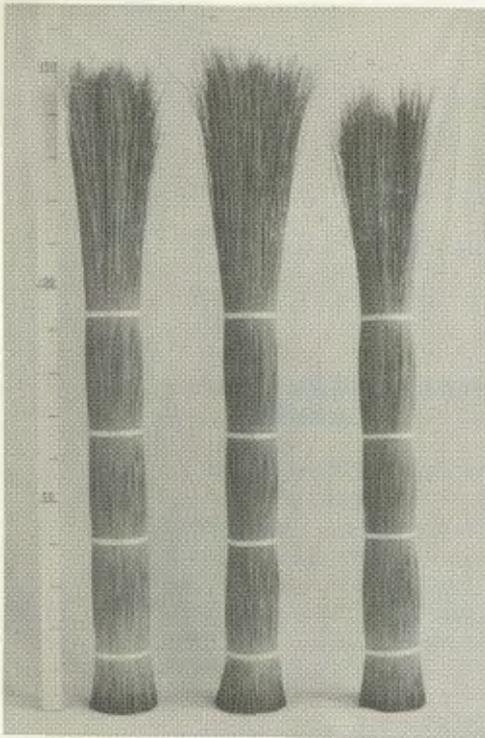
近年、畳表の品質向上についての要望が強く、それに応えてさきにいそなみを育成したが、さらに今回その兄弟系統である瀬戸12号が、岡山3号より良質多収の新品種として登録され、「きよなみ」と命名された。ここに本品種の来歴及び育成経過、特性などについて報告し、御参考にとす。

II 来歴及び育成経過

きよなみは1961年12月、広島県立農業試験場東支場(1969年4月から広島県立農業試験場い草試験地と改称)において、熊本県八代郡鏡町の在来種である「文政在来」を熊本県農業試験場八代支場から取寄せ、栄養系分離法によって選抜育成したものである。1962年畑苗床系統選抜試験(100系統供試, 31系統選抜)、1963年本田系統選抜試験(9系統選抜)、1964年に「広系390」の系統番号で生産力検定予備試験(3系統選抜)、1965～1966年に生産力検定本試験を行った。両年共に5月下旬までの生育は、広系390が広系393(いそなみ)より優れ、いわゆる伸長型の生育を示したが、6月上旬以降は

*元広島県立農業試験場

注)広島県立農業試験場い草試験地、1978。いぐさ「新品種」に関する参考成績書 瀬戸12号, 35。



いそなみ きよなみ 岡山3号

第1図 新品種「きよなみ」と比較品種

茎の伸長が抑制され、収穫時には広系393より劣った。このために、2年で生産力検定本試験を一時中止した。

一方、熊本県農業試験場八代支場で1965年から行った生産力検定試験の成績が良好なため、1970年12月に瀬戸12号の地方番号(系統名)を付し、引続き生産力及び地方適否を確かめてきたもので、1974年6月には熊本県で優良系統に指定された。

また、1968年からは、福岡県立農業試験場筑後分場でイグサ紋枯病特性検定試験、高知県農事試験場で系統適応性検定試験を実施し、その他、佐賀、大分、鹿児島、岡山の各県でも地方適否が確かめられた。

育成地でも、1970年12月から再び生産力と特性の検定を重ねた結果、1978年6月29日、いぐさ農林4号に登録され、「きよなみ」と命名された。

III 特 性

1. 育成地での形態的、生理生態的特性

第1表、第2表に示すように、生育型は分げつ型に属する。5月までの生育は、いそなみに比べて茎長長く、分げつもやや多いが、6月以降は生育やや緩慢となり、収穫時期にはいそなみとほぼ同様の生育を示す。生茎の色調は適度の緑色を呈するが(第1表)、乾茎の色沢はいそなみ程度か、またはやや劣る(第1表、第4表)。収量はいそなみよりやや劣る(第3表)。

茎の太さは、いそなみ、あさなぎと同じ程度で中細種に属するが、茎の充実が良い。着花は少なく、いそなみ、あさなぎ程度である(第3表)。茎の充実が良かったため畳表の製織長はいそなみより長い、畳表の品質はいそなみ、あさなぎに及ばない(第4表)。

イグサ紋枯病抵抗性は、本病に対して強いとされる

第1表 育成地における総合特性表

品 種 名	生育型	茎の伸長	分げつ	生 茎 色	茎の太さ	粒 揃
きよなみ	分げつ型	やや良	やや多	緑	中 細	中
いそなみ	分げつ型	やや良	やや多	緑	中 細	中
さざなみ	伸長型	良	中	やや濃緑	中 太	中
あさなぎ	分げつ型	やや不良	多	緑	中 細	良

品 種 名	花 序 の 多 少 - 大 小	先 枯	色 沢	元 白	硬 軟	畳 表 の 質
きよなみ	少 - 小	少	やや良	少	やや硬	中
いそなみ	少 - 小	中	やや良	少	やや硬	やや良
さざなみ	多 - 中	中	やや良	少	硬	中
あさなぎ	少 - 小	多	良	少	中	良

付表1の続き

県名	試験場所	年次	品種名	茎長 (cm)	茎数(本/株)		収量(kg/a)		収量指数		長イ 重率 (%)
					60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	
熊本	八代郡 竜北町 (強還元)	1969 1年	きよなみ	143	122	56	128.5	83.8	86	94	65.2
			いそなみ	146	133	63	128.5	85.9	86	97	66.8
			岡山3号	143	141	66	149.9	88.8	100	100	59.2
			さざなみ	144	105	51	119.3	72.4	80	82	60.7
			あさなぎ	138	121	53	130.0	75.3	87	85	57.9
熊本	八代市 竜峰 (排水不良)	1970 1971 2年	きよなみ	142	118	61	108.6	67.5	99	102	62.2
			岡山3号	139	125	61	109.5	65.9	100	100	60.2
			さざなみ	145	117	56	106.0	61.5	97	93	58.0
熊本	宇土市 (排水不良)	1970 1971 2年	きよなみ	143	131	76	123.2	79.5	106	113	64.5
			岡山3号	147	125	69	116.6	70.1	100	100	60.1
			さざなみ	145	117	72	108.7	74.3	93	106	68.4
			あさなぎ	139	133	70	117.4	71.8	101	102	61.2
熊本	八代郡 坂本村 (中山間)	1971 1972 2年	きよなみ	146	132	70	127.0	76.8	113	113	60.5
			岡山3号	145	137	72	111.9	68.1	100	100	60.9
			さざなみ	153	130	75	123.1	65.6	110	96	53.3
			あさなぎ	145	143	73	93.0	60.8	83	89	65.4
熊本	八代郡 不知火 (干拓4年目) (排水不良)	1971 1年	きよなみ	109	60	7	69.2	11.1	77	87	16.0
			岡山3号	113	77	16	90.3	12.7	100	100	14.1
			さざなみ	115	72	18	77.4	21.1	86	166	27.3
			あさなぎ	111	79	14	76.4	11.8	85	93	15.5
熊本	球磨郡 岡原村	1971 1年	きよなみ	153	118	73	124.6	85.1	107	106	68.3
			岡山3号	146	104	62	116.7	80.3	100	100	68.8
			さざなみ	154	95	59	117.8	85.4	101	106	72.5
熊本	下益城郡 小川町 (排水不良)	1971 1年	きよなみ	144	115	72	122.6	86.2	99	97	70.3
			岡山3号	142	134	81	123.8	88.6	100	100	71.6
			さざなみ	143	121	73	129.0	87.4	104	99	67.8
			あさなぎ	143	114	66	124.4	84.5	101	95	67.9
熊本	八代市 北平和町	1973 1年	きよなみ	146	132	80	136.1	99.1	109	111	72.8
			いそなみ	144	131	79	123.6	86.8	99	97	70.2
			岡山3号	146	127	75	124.7	89.7	100	100	71.9
熊本	阿蘇郡 一の宮町 (高冷地)	1972 1年	きよなみ	140	109	55	111.5	67.2	118	124	60.3
			岡山3号	133	94	39	94.6	54.4	100	100	57.5
			さざなみ	142	97	53	98.7	65.3	104	120	66.2
			あさなぎ	135	91	38	94.5	52.5	100	97	55.6

付表1 きよなみの系統適応性検定試験及び地方適否試験における生育収量調査成績

県名	試験場所	年次	品種名	茎長 (cm)	茎数(本/株)		収量(kg/a)		収量指数		長イ 重率 (%)
					60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	
高知	農試 (系適)	1968	きよなみ	145	121	—	129.3	94.0	105	105	72.7
		1970	いそなみ	147	124	—	131.9	98.5	107	110	74.7
		1975 7年	あさなぎ	142	125	—	123.7	89.9	100	100	72.7
高知	土佐市 波介	1969	きよなみ	153	130	—	136.1	105.6	102	101	77.6
		1976 8年	いそなみ	154	135	—	133.3	104.9	100	100	78.7
福岡	農試	1967	きよなみ	139	90	52	121.2	82.7	97	97	68.2
		1969	いそなみ	144	86	53	119.6	85.1	96	100	71.2
		1972 5年	あさなぎ	140	92	53	125.0	85.1	100	100	68.1
佐賀	農試	1972	きよなみ	143	104	60	123.7	94.1	100	103	76.1
		1975	いそなみ	145	108	67	126.7	99.1	102	109	78.2
		1975 4年	あさなぎ	140	107	61	124.3	91.2	100	100	73.4
大分	蘭指	1974	きよなみ	148	134	—	128.8	93.8	100	97	72.8
		1975	岡山3号	151	137	—	139.3	105.0	108	109	75.4
		2年	さざなみ	154	128	—	131.6	98.0	102	102	74.5
			あさなぎ	148	133	—	128.5	96.5	100	100	75.1
鹿児島	農試	1971	きよなみ	126	134	41	110.0	56.2	108	106	51.1
		1972	いそなみ	132	137	54	105.9	63.8	104	121	60.2
		2年	岡山3号	127	146	53	111.4	69.2	109	131	62.1
			さざなみ	129	126	42	106.3	55.5	104	105	52.2
			あさなぎ	124	132	38	101.9	52.8	100	100	51.8
岡山	農試	1973	きよなみ	147	100	68	115.9	94.8	87	87	81.8
		1年	岡山3号	149	109	72	123.5	102.1	93	94	82.7
			いそなみ	158	107	76	134.3	112.5	101	103	83.8
			あさなぎ	149	103	70	133.5	109.0	100	100	81.6
熊本	八代市 金剛	1969	きよなみ	139	120	67	110.5	74.0	122	140	67.0
		1年	いそなみ	140	107	58	96.0	59.0	106	111	61.5
			岡山3号	130	107	49	90.5	53.0	100	100	58.6
			さざなみ	134	90	46	91.0	55.5	101	105	61.0
			あさなぎ	140	134	60	94.5	61.0	104	115	64.6
熊本	八代郡 鏡町	1969	きよなみ	145	134	70	128.8	87.8	111	109	68.2
		1年	いそなみ	144	114	58	120.3	84.4	104	104	70.2
			岡山3号	145	123	61	115.7	80.9	100	100	69.9
			さざなみ	146	123	60	110.6	71.8	96	89	64.9
			あさなぎ	142	142	64	123.1	79.8	106	99	64.8
熊本	八代郡 鏡町	1973	きよなみ	156	143	92	153.0	117.1	101	102	76.5
		1年	いそなみ	153	137	88	150.5	116.5	99	102	77.4
			岡山3号	155	140	84	151.5	114.6	100	100	75.6

Its yield is slightly less than that of Isonami. The tone of its stem color when dried is slightly inferior to Isonami and the quality as the mat covering (Tatami-facing) cannot match with Isonami and "Asanagi", but the stem is slender and flower setting is less just as Isonami.

Its resistance to Rush Stem Rot (*Rhizoctonia solani* Kühn) is as strong as "Sazanami" but its resistance at the peak period of this disease is stronger than Sazanami.

3. In Kumamoto Prefecture, the stem length is about the same as Isonami, but is longer than "Okayama No. 3." Its tillering is less at the early growth stage, but it becomes more abundant in the later growth stage. A noteworthy characteristic of this rush grass is that its stem length often exceeds 105cm so that the "long stem" yield is greater. Its stem is slender and the flower setting is less. The color tone of the stem is light green. The quality of the dried stem is better than Okayama No. 3. and Isonami.

The adaptability for heavy manuring is high. To the resistibilities against soil reduction it is stronger than Isonami and Asanagi but is inferior to Okayama No. 3 and Sazanami.

4. Adaptable regions to this variety are the warm southwestern region such as Kyushu and Shikoku Districts where Rush Stem Rot is predominant due to heavy rainfall.

5. When nitrogenous fertilizer affects markedly at an early growth stage, the growth of this species is accelerated, inducing the top die and making its quality poor.

6. From the planting time to May, the tillering becomes poor if the irrigation period is long. Therefore, the drainage must be taken care of as much as possible during this period of growth. After June in order to accelerate the growth of the stem length a meticulous care should be taken to the water control as to avoid too dry condition.

7. This variety has the resistance to Rush Stem Rot but when the disease seems to be imminent, chemicals should be sprayed.

8. In the regions where the underground water level is high, or in the paddy field of poor drainage, or in the fields with a relatively high concentration of salts due to only a few years after reclamation, at first Okayama No. 3 should be introduced, and Kiyonami may be introduced only when the soil productivity has been amply improved.

に茎は細く、着花も少ない。

イグサ紋枯病抵抗性は、本病に対して強いさざなみ程度であるが、激発時の抵抗性はさざなみより強い。

3. 熊本県においては、茎長はいそなみ程度であるが、岡山3号よりは長い。分げつは生育初期は少なく、生育後期に多くなり、特に105cm以上の「長イ」の茎数が多く、従って、「長イ」の収量が多い。茎は細く、着花は少ない。乾茎の色沢はわずかに淡緑を呈する。乾茎の品質は岡山3号やいそなみより良い。耐肥性は高く、土壤還元に対しては、いそなみ、あさなぎより強いが、岡山3号、さざなみには及ばない。

4. 本品種の適応地域は、九州・四国等の西南暖地で、多雨によるイグサ紋枯病の発生しやすい地帯である。

5. 地下水位の高い排水不良田とか、干拓後年数の少ない、塩類濃度の比較的高い水田では低収となるため、これらの地帯では、先ず岡山3号を導入し、土地の生産力が高まってからきよなみを導入するのがよい。

謝 辞

本品種の育成にあたっては、熊本県農業試験場八代支場い業部の方々の積極的な御協力をいただいた。また、

福岡県立農業試験場筑後分場イ栽培研究室の方々には特性検定試験と地方適否試験を、高知県農事試験場栽培技術科の方には系統適応性検定試験を、佐賀県農業試験場特殊作物研究室、鹿児島県農業試験場作物部、岡山県立農業試験場作物部、大分県蘭業指導所各担当者の方々には地方適否試験のそれぞれ御協力をいただいた。なお、育成地の技術員の方々の援助も極めて大きい。以上の各位に対し、深甚なる謝意を表する。

引用文献

- 1) 木下猛夫・北島昂・野上竜介・宇野健二：1976. いぐさ育種に関する研究，第2報いぐさ「岡山3号」と優良品種「瀬戸12号」の生態的特性について。日本作物学会九州支部会報43：34—37
- 2) 日本農業研究所：(未発刊)。戦後農業技術発達史(統)農業技術動向調査121—134
- 3) 定平正吉：1978. イグサ経営今後の展開。広島県農政部「研究だより」15：1—9
- 4) ———・赤木豊樹・吉崎徹磨・中野善雄・大出春之・後俊孝・倉田斉・下山根義行：1972. いぐさ新品種「いそなみ」について。広島農試報告31：1—10

On "KIYONAMI" a New Variety of Mat Rush Grass.

Masayoshi SADAHIRA, Toyoki AKAGI,
Shiro HAMADA, Yoshiyuki SHIMOYAMANE,
Yoshio NAKANO, Tetsuma YOSHIZAKI,
Haruyuki ŌDE and Toshitaka USHIRO

Summary

1. "Kiyonami" is a new variety of mat rush grass established by the clonal separation from "Bunsei", a rush local variety indigenous to Yatsushiro region in Kumamoto Prefecture, that was at first brought to the East Branch of Hiroshima Prefectural Agricultural Experiment Station in 1961. Namery, in 1965 it was registered by the strain number of "Hiro-strain 390" which had been tested for its adaptability to various other mat rush raising regions including Kumamoto Prefecture, and in 1970 it was given the strain name of "Seto No. 12". Subsequently after repeated studies on its performance and property it was designated in 1978 as "Kiyonami" in the Registry of Ministry of Agriculture and Forestry, "Mat Rush Grass Norin No. 4" and its production is being encouraged in Kumamoto Prefecture.

2. Its growth pattern belongs to the tiller type, and up to May its growth shows slightly longer stems and more tillering than "Isonami", but after June its growth becomes somewhat slower, and by the harvest time it grows at about the same rate as Isonami.

IV 適応地域

九州・四国等の西南暖地に適する。すなわち、熊本、宮崎、高知各県等の多雨によるイグサ紋枯病の発生しやすい地帯の、主として普通栽培または中間刈栽培に適する。

V 栽培上の注意

1. 生育初期に肥効が高くなると、岡山3号同様に生育が早く進み、先枯を誘発し、品質を不良にする恐れがあるので、施肥に注意を要する。
2. 植付から生育中期（5月）までは、湛水期間が長くと分けつが劣るため、この期間は極力排水に努める。6月以降は茎の伸長を促進させるため、過干にならぬように細心の水管理が必要である。
3. イグサ紋枯病及びイグサンムンガに対する抗抵

性は強い方であるが、多発の恐れがある場合は、防除基準に従って薬剤散布を励行する。

4. 地下水位の高い排水不良田や干拓開田後年数が浅く、塩類濃度の比較的高い水田では、茎の伸長が不良で低収となるため、これらの地帯では、先ず岡山3号を導入し、土地の生産力が高まってからきよなみを導入するような配慮が必要である（付表）。

VI 命名の由来

畳表の織目のありさまが美しく、静かに落ち着いた感じを与えるの意。

VII 育成従事者

第12表のとおりである。

第12表 育 成 従 事 者

年次	育成場所	育成従事者
1961	広島農試東部支場	中野 善雄, 大出 春之
1962	〃	〃 , 〃
1963	〃	〃 , 〃
1964	〃	〃 , 〃 , 吉崎 徹磨, 定平 正吉, 下山根義行
1965	〃	吉崎 徹磨, 定平 正吉, 赤木 豊樹, 下山根義行
1966	〃	〃 , 〃 , 〃 , 〃 , 後 俊孝
1967	〃	〃 , 〃 , 〃 , 〃 , 〃
1968	〃	〃 , 〃 , 〃 , 〃 , 〃
1969	広島農試草試験地	〃 , 〃 , 〃 , 〃 , 〃
1970	〃	定平 正吉, 赤木 豊樹, 後 俊孝, 〃
1971	〃	〃 , 〃
1972	〃	〃 , 〃
1973	〃	〃 , 〃
1974	〃	〃 , 〃
1975	〃	〃 , 〃 , 浜田 四郎
1976	〃	〃 , 浜田 四郎
1977	〃	〃 , 〃
1978	〃	〃 , 〃

摘 要

1. イグサ新品種「きよなみ」は、熊本県八代地方の在来種「文政在来」を1961年に広島県立農業試験場東部支場に取寄せ、栄養系分離法によって選抜育成したもので、1970年に「瀬戸12号」の系統名を付し、1978年6月29日、「いぐさ農林4号」に登録、きよなみと命名され

たものである。

2. 育成地での生育型は分けつ型に属し、5月までの生育はいそなみに比べて茎長長く、分けつも多いが、6月以降は生育がやや緩慢となる。収穫時期にはいそなみとほぼ同様の生育を示す。収量はいそなみよりやや劣る。乾茎の色沢は、いそなみよりやや劣り、畳表の品質も、いそなみ、あさなぎに及ばないが、いそなみと同様

第8表 熊本農試八代支場における普通栽培での品質

品 種 名	長イ花序着生率 (%)	先枯長 (cm)	長イ先枯歩合 (%)	1 m 茎重 (g/100本)	茎の太さ (mm)	硬 度 (%)	生 茎 色	乾 茎 の 沢	元 白
きよなみ	1.7	3.6	4.0	35.5	1.34	89	緑～淡緑	やや良	少
いそなみ	1.4	3.4	3.2	35.1	1.35	89	緑～淡緑	中～やや良	少
岡山3号	1.1	3.3	3.6	34.6	1.34	89	緑	中～やや良	少
さざなみ	4.3	3.7	5.8	37.5	1.40	89	緑～濃緑	中	少～中

注) 1965～1968, 1970, 1973～1976年 9カ年平均値。
ただし、先枯長は1973～1976年 4カ年平均値。

第9表 耐肥性検定 (熊本農試八代支場, 1972)

窒 素 施 用 量 (kg/a)	品 種 名	茎 長 (cm)	茎数(本/株)		収量(kg/a)		収量指数		長 イ 重 (%)	長イ先枯歩合 (%)	茎 の 太 さ (mm)
			60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上			
4.5	きよなみ	147	111	62	131.1	94.9	105	110	72.4	5.4	1.42
	岡山3号	149	108	60	124.9	85.9	100	100	68.8	9.6	1.37
	さざなみ	147	101	57	127.2	87.9	102	102	69.1	5.2	1.53
	あさなぎ	142	111	55	129.9	81.6	104	95	62.8	4.4	1.38
12.0	きよなみ	143	113	56	115.8	78.1	93	91	67.4	7.1	1.38
	岡山3号	144	122	59	114.1	73.4	91	85	64.3	10.0	1.37
	さざなみ	145	104	47	111.8	73.4	90	85	65.7	5.4	1.49
	あさなぎ	141	119	53	103.7	60.0	83	70	57.9	9.2	1.42

第10表 土壌還元抵抗性検定 (熊本農試八代支場, 1973)

項 目	きよなみ		いそなみ		岡山3号		さざなみ		あさなぎ	
	処 理	無処理								
茎 長 (cm)	124	150	127	148	131	145	139	149	121	149
60cm以上茎 数(本/株)	139	137	129	124	148	133	130	131	150	148
105cm以上茎 数(本/株)	60	94	59	85	77	90	75	90	51	100
60cm以上乾茎重(kg/a)	138.5	157.9	126.0	140.7	136.0	142.4	146.6	154.3	138.9	152.6
105cm以上乾茎重(kg/a)	74.8	124.5	71.5	109.6	85.1	109.5	101.3	120.9	59.7	117.1
長イ先枯歩合 (%)	8.8	1.9	8.6	2.4	6.8	2.3	3.4	2.7	15.9	3.7
茎 の 太 さ (mm)	1.35	1.29	1.31	1.28	1.30	1.24	1.43	1.38	1.36	1.28

注) 土壌還元処理は5月19日かんしり澱粉0.5kg/m²施用。

第11表 早刈栽培に対する適応性

品 種 名	茎長 (cm)	茎数(本/株)		収量(kg/a)		収量指数		長イ花序着生率 (%)	長イ先枯歩合 (%)	1 m 茎重 (g/100本)	茎の太さ (mm)	硬 度 (%)
		60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上					
きよなみ	140	115	58	119.1	76.7	101	106	7.4	4.0	35.3	1.49	83
いそなみ	140	120	60	122.4	79.1	104	109	8.2	4.1	34.2	1.47	83
岡山3号	138	122	59	117.7	72.7	100	100	7.2	5.5	32.6	1.44	82
さざなみ	144	115	60	119.6	79.7	102	110	21.8	4.9	36.0	1.52	86
あさなぎ	136	120	57	116.9	72.3	99	99	6.3	3.6	33.4	1.47	83

注) 1969, 1970, 1973～1975年5カ年平均値。

第5表 イグサ紋枯病抵抗性検定(福岡農試筑後分場, 特性検定試験)

項目	年次	きよなみ	いそなみ	岡山3号	さざなみ	あさなぎ
被害 度	1968	0.3	0	0.0	0.1	0.0
	1969	0.4	0.7	0.4	1.0	0.8
	1970	0.4	2.7	2.0	2.5	8.3
	1974	14.6	34.0	24.8	27.3	32.0
	1975	1.7	0.5	0.6	0.8	3.2
	1976	0.7	0.8	0.6	0.4	0.4
	1977	0	0.1	0.1	0	0.2
	平均		2.6	5.5	4.1	4.6
発病 茎率 (%)	1973	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2
	1974	6.9	23.5	15.6	18.4	20.0
	1975	0.7	0.2	0.2	0.2	1.8
	1976	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	1977	0	0.0	0.0	0	0.0
	平均		1.6	4.8	3.3	3.8
病斑長 (mm) 1病斑	1973	37	28	20	49	83
	1974	—	—	—	—	—
	1975	23	23	26	30	23
	1976	36	10	36	37	29
	1977	0	19	21	0	17
	平均		24	20	26	29

1974年は激発したため病斑長は判然とせず。

第6表 イグサシムシガ抵抗性検定(福岡農試筑後分場)

項目	調査茎	年次	きよなみ	いそなみ	岡山3号	さざなみ	あさなぎ
被害 茎率 (%)	105cm	1968	2.8	9.6	12.7	4.2	2.9
	以上	1969	0.9	2.9	2.1	4.7	5.2
	60cm	1968	2.5	3.6	8.4	6.2	3.7
	105cm	1969	1.3	2.5	2.7	3.0	3.7
	全体	1968	2.6	6.0	10.6	5.4	3.3
		1969	1.1	2.7	2.5	3.7	4.3

第7表 熊本農試八代支場における普通栽培での生育・収量

品種名	5月初め		収穫期			収量(kg/a)		収量指数		長重 イ率 (%)
	茎長 (cm)	茎数 (本/株)	茎長 (cm)	茎数(本/株)		60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上	
				60cm 以上	105cm 以上					
きよなみ	64	81	147	137	80	135.9	97.8	101	105	72.0
いそなみ	64	84	148	139	79	131.2	93.0	97	100	70.9
岡山3号	62	87	145	145	78	135.2	92.8	100	100	68.6
さざなみ	67	80	150	133	77	136.1	97.7	101	105	71.8

注) 1965~1968, 1970, 1973~1977年 10カ年平均値。

第2表 育成地における普通栽培の生育

品 種 名	茎 長 (cm)				茎 数 (本/株)			収 穫 期	
	4月1日	5月1日	6月1日	収 穫 期	4月1日	5月1日	6月1日	60cm 以上	105cm 以上
	きよなみ	44	57	89	138	35	59	91	90
いそなみ	43	56	87	138	34	58	94	90	48
さざなみ	43	59	88	140	32	54	82	81	44
あさなぎ	41	54	86	133	35	61	99	95	48

注) 1965, 1966, 1971~1977年 9カ年平均値

第3表 育成地における普通栽培の収量・品質

品 種 名	収 量(kg/a)		収 量 指 数		長 イ 重 率 (%)	長イ花序 着 生 率 (%)	1 m茎重 (g/100本)	茎の太さ (mm)	同変異 係 数 (%)
	60cm 以上	105cm 以上	60cm 以上	105cm 以上					
きよなみ	111.9	72.5	100	106	64.8	1.4	36.3	1.47	11.5
いそなみ	113.2	74.5	101	109	65.8	1.3	35.6	1.48	11.5
さざなみ	112.7	74.0	101	108	65.7	7.6	40.9	1.60	11.7
あさなぎ	111.9	68.6	100	100	61.3	1.6	35.2	1.46	10.9

注) 1965, 1966, 1971~1977年 9カ年平均値。
茎の太さは篩別法による。

第4表 育成地における普通栽培の品質

品 種 名	長イ先枯 合 (%)	引 通 表 製 織 長			畳 表 の 品 質 (点)				
		cm/2000本	cm/1 kg	m/a	品 位	元 白	枯イの 混 入	その他	計
きよなみ	14.3	87.3	102.6	74.4	44	9	13	24	90
いそなみ	15.2	82.8	100.5	74.8	45	9	13	24	91
さざなみ	13.4	98.1	102.2	74.7	44	9	13	24	90
あさなぎ	15.5	82.5	102.4	71.2	46	9	13	24	92

注) 1966, 1971~1977年 8カ年平均値。

さざなみ程度であるが、激発時の抵抗性はさざなみより強い(第5表)。イグサシンムシガに対する抵抗性も、いそなみ、さざなみより強い(第6表)。

2. 熊本県での形態的、生理生態的特性

第7表に示すように、茎長はいそなみ程度であるが、岡山3号より長い。分けつは、生育初期はいそなみより劣るが、生育後期には多くなり、特に105cm以上の「長イ」の茎数が多く、従って「長イ」の収量が多い¹⁾。

品質については第8表に示すように、着花は少なく、茎の太さはいそなみ、岡山3号と同程度である。茎色は岡山3号よりやや淡緑である。

乾茎の品質は岡山3号やいそなみより良い。

窒素に対する耐肥性は第9表に示すように高く、肥料多施による減収の度合は、いそなみ、岡山3号、さざなみより小さい。土壌還元に対する抵抗性は、第10表に示すように、いそなみ、あさなぎより強いが、岡山3号、さざなみには及ばず、茎長が短く、「長イ」収量の低下が著しい。第11表に示すように、早刈栽培では岡山3号より生育良好で多収であるが、茎が太くなり、いそなみより収量が劣る。

きよなみは12月植付の普通刈栽培または中間刈栽培に適する。